

(様式第5号)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県テニス協会]

[記載日：2025年5月17日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 非該当	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 先人の方々が築かれた体制を基盤として取り組んでいる。時代にマッチした組織の在り方を模索している。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ガバナンスに対して一層の厳しさが要求される中、会計決算の透明化、選手選考の透明化、個人情報保護、著作権・肖像権の保護、パワハラ・セクハラ、ドーピングなどには重点的に取り組んでいる。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 常任理事、理事、監事により組織運営を行い、毎年度の理事会にて事業報告・決算、事業計画・予算、規約改正などの審議を行って相互のチェック体制を堅持している。	
原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 中長期ビジョンの策定ができていないが、加盟団体の脱会、会員減少の課題があるため、ビジョンの策定を議論している。	
原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコン	A

プライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 理事長、事務局は毎年、J T A、県スポーツ協会などの教育を受講し、関係団体にも、それぞれの環境での教育の受講を促している。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 上記教育などの資料の公開により啓蒙を行っている。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 毎年度常任理事会の際に、証票をもとに監事による監査を受けて、その監査結果を含めて理事会に報告を行っている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 各種助成金などに関しては指定の書式に基づき確実に報告を行っている。行政から預かっている資金の流れに関しては特に厳格な運営に向けて意思統一を心がけている。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 口座を管理する担当者は個別実務に関係せずに会計業務に徹している。基本的に実務に関しては委員会ごとの個別会計に区別しているが、長期的な管理、大きな資金管理が求められる長野国スポ準備、北信越ベテラン選手権については特別会計にて管理している。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 組織体制に関してはH Pにて公開し、常にアップデートしている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 原則 1—(4)に記載したように理事会にて運営の実態の公開を行い、ガバナンスの自己チェック結果をH Pにて公開している。	